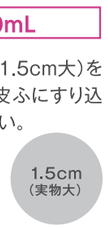
使用方法

60mL

適量（直径1.5cm大）を手にとり、皮ふにすり込んでください。



※持ち運びに便利な携帯用コードリールもあります。

300mL

適量（1プッシュ=約0.4mL）を手にとり、皮ふにすり込んでください。

使用頻度（目安）

- 約4時間おきに（業務開始前、休憩後など）
- 約10回の手指消毒ごとに

※手肌の状態や作業内容に応じて、こまめに塗布してください。

皮ふ刺激性テスト（パッチテスト）済み（すべての方に皮ふ刺激が発生しないということではありません）

■ 組成

水、グリセリン、ベンチレングリコール、ベヘニルアルコール、シア脂、メドウフォーム油、ホホバ油、スクワラン、ヒアルロン酸Na、加水分解ヒアルロン酸、セラミド3、ポリクオタニウム-51、ポリグルタミン酸、グリチルリチン酸2K、ソルビトール、トコフェロール、ベタイン、ジグリセリン、エチルヘキシルグリセリン、PEG/PPG-19/19ジメチコン、シクロペンタシロキサン、ステアロイル乳酸Na、ペンタステアリン酸ポリグリセリル-10、ジラウロイルグルタミン酸リシンNa、イソノナン酸エチルヘキシル、ラウレス-7、BG、ポリアクリルアミド、（C13,14）イソパラフィン

■ 使用上の注意

- 本品の成分によりアレルギーが発現したことのある人は使用しないでください。
- お肌に異常が生じていないかよく注意して使用してください。
- 使用中や使用後に赤み、はれ、かゆみ、色抜け（白斑）や黒ずみ、刺激などの異常があらわれた時や、使用後に直射日光が当たって肌に異常があらわれた時は、使用を中止して皮膚科専門医などに相談してください。
- 小児や認知症の方の手の届かない場所に保管してください。
- 目に入ったときは、こすらずにすぐ洗い流してください。異常が残る場合は、眼科医に相談してください。
- 直射日光、高温をさけて保管してください。

専用ディスペンサー protecute プロテキュート UD-300T

自動吐出
手を差し出すとセンサーが自動感知、ノータッチで使用液を吐出します。

コンパクト
狭いスペースにも置ける、小型タイプです。壁付けにも対応しています（専用取付板を使用）。

機能性
フロントが透明なため、使用液の製品名や開封日が確認できます。

商品コード：41754　※本体に乾電池、使用液は付属していません。

品　名	内容量 / 規 格	1梱入数	商品コード	JANコード
プライムバリアローション	60mL	30	52107	49-87696-52107-0
	300mL	20	52108	49-87696-52108-7

■ 製品は改良のため、予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。　■ 写真及び印刷の仕上がり上、現品と色合いが若干異なることがあります。　■ 記載内容は2025年12月現在のものです。

サラヤ株式会社
〒546-0013 大阪市東住吉区湯里2-2-8
https://www.saraya.com/
お問い合わせ先　TEL.06-6797-2525
学術的なお問い合わせ先　学術部 TEL.06-4706-3938
（受付時間：平日 9:00～17:00）

68-0176B-04-M

SARAYA

商品の詳しい情報はこちらから▶

医療・介護施設用

PRIME BARRIER
プライムバリアローション

保護　保湿と保護が同時にできるハンドローションです。

保湿　なめらかな塗り心地で手肌をしっとり、うるおいつつ、さらっとした使用感を保ちます。

実物大

1本で約150回分（直径1.5cm大）

60mL

実物大

1本で約750回分（1プッシュ=約0.4mL）

300mL

医療現場における手指衛生のためのCDCガイドライン（2002年）および医療施設における手指衛生のためのWHOガイドライン（2009年）では、「手指消毒や手洗いに関連した刺激性接触皮膚炎の発生を最小限に抑えるために、医療従事者にはハンドローションやクリームを提供する（カテゴリーIA）」ことを勧告しています。

手荒れがもたらす問題点

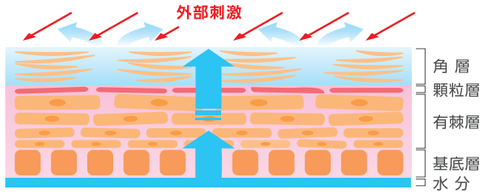
- 細菌の温床となる
- 乾燥した皮膚がはがれ落ち、**環境を汚染する**
- 角層バリア機能が低下することで、血液媒介ウイルス等に**感染する危険性が増加する**
- **手指衛生遵守率の低下**を招く

(参考)Skin reactions related to hand hygiene and selection of hand hygiene products.　Am J Infect Control: **34**: 627-635, 2006

手荒れは個人の問題に留まらず、医療・介護施設全体の感染対策に影響を及ぼします。

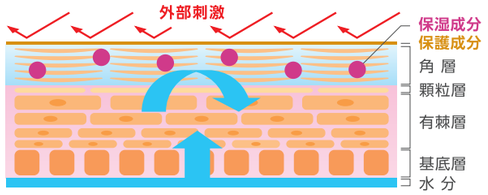
保湿・保護のメカニズム

手荒れは、角層バリア機能が低下し、皮膚から水分が失われることによって生じます。



皮ふが乾燥することにより、角層バリア機能・水分量が低下し、外的刺激を受けやすくなっています。

図1 乾燥した皮ふ



保湿成分が水分保持能を高め、保護成分やエモリエント成分が皮ふ表面の水分蒸散を抑えることで、皮ふの乾燥を防ぎます。

図2 保湿・保護された皮ふ

プライムバリアローションは、手肌のうるおいを保ち、角層バリア機能を補完します。

商品特徴

1 保湿と保護　ダブルの作用でハンドケア

保湿・保護成分をダブルで配合しているため、手肌の水分量を保ちながら、角層バリア機能を補います。また、さらっとした使用感で、業務に影響を与えません。

2 肌荒れ防止成分、エモリエント成分を配合

グリチルリチン酸2K、トコフェロールが肌荒れを防ぎます。
また、エモリエント成分が保護成分による皮膜形成作用を補強します。

3 手指消毒剤の作用や各種手袋の性能に影響を与えません

手指消毒剤の抗菌作用およびクロルヘキシジングルコン酸塩など手指消毒剤の残留抗菌作用に影響を与えません。また、ニトリル手袋やプラスチック手袋などの各種手袋の性能にも影響を与えません。

4 無香料、無着色

無香料、無着色のため、医療器具などへの移り香や着色の心配がありません。

主な配合成分と働き

保湿成分
- Wヒアルロン酸：ヒアルロン酸Na、浸透性ヒアルロン酸(加水分解ヒアルロン酸)
- セラミド3　• グリセリン
- ポリグルタミン酸
- ソルビトール
- リビジュア※(ポリクオタニウム-51)

エモリエント成分
(水分蒸散抑制や肌を柔らかくする)
- 植物由来スクワラン　• ホホバ油
- シアバター(シア脂)　• メドウフォーム油

保護成分
- ポリアクリルアミド
- PEG/PPG-19/19ジメチコン

＋

肌荒れ防止成分
- グリチルリチン酸2K
- ビタミンE(トコフェロール)

※リビジュアは日油株式会社の登録商標です。

保湿効果

プライムバリアローションを被験者の皮ふに塗布し、4時間後の角層水分保持能を評価しました。試験部位に蒸留水を滴下し、水負荷させました。ペーパータオルでふきとってから30秒、60秒、90秒および120秒後の静電容量を測定しました。その後、プライムバリアローション(対照：蒸留水)を塗布し、4時間後、同様の方法で静電容量を測定しました。

角層水分保持能の変化率は以下の式で算出しました。

■角層水分保持能(%)=A／B×100
A：水負荷から30秒、60秒、90秒および120秒後の静電容量の平均
B：水負荷直後(0秒後)の静電容量

■角層水分保持能の変化率(%)=D／C×100
C：塗布前の角層水分保持能
D：塗布4時間後の角層水分保持能

プライムバリアローションは4時間後、蒸留水と比較して角層水分保持能の変化率が約40%増加しました。

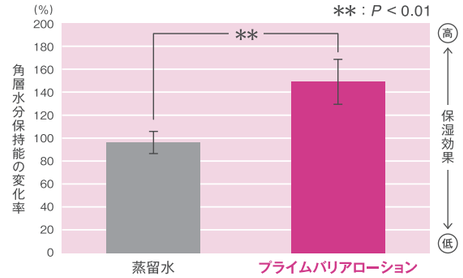


図3 角層水分保持能の変化率(mean±SD, n=10)

保護効果

プライムバリアローションの実使用における手荒れ防止効果をTEWL(経皮水分蒸散量)および角層細胞剥離量にて評価しました。
約20人の被験者を、下記に分けて2週間ずつクロスオーバー試験を行いました。

未使用群	石けん手洗い → サニサーラW※で10回消毒を1セットとし、午前と午後に1セットずつ実施
使用群	石けん手洗い → **プライムバリアローション塗布** → 15分後、サニサーラW※で10回消毒を1セットとし、午前と午後に1セットずつ実施

※76.9～81.4%エタノールを有効成分とする、当社速乾性手指消毒剤

1 TEWL(経皮水分蒸散量)

プライムバリアローション未使用群と使用群における、試験前後のTEWLを評価しました。

TEWLは、角層バリア機能の指標となります。TEWLが高いほど、皮ふの水分が蒸散しやすい状態であり、角層バリア機能が弱くなっている状態を示します。

プライムバリアローション未使用群では試験後にTEWLが上昇する傾向が見られましたが、使用群では試験後のTEWLは低下しました。

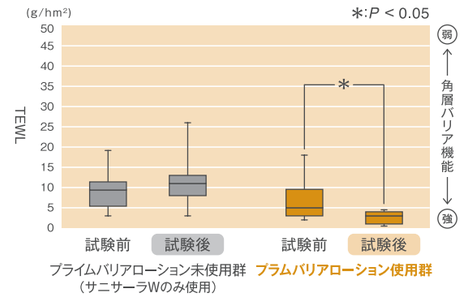


図4 試験前後のTEWL(mean±SD, n=10)

2 角層細胞剥離量

プライムバリアローション未使用群と使用群における、試験前後の皮ふの角層細胞剥離量を評価しました。角層細胞剥離量は、角質チェッカーを用いて採取した角層細胞を染色し、染色面積から判断しました。

染色面積(青い部分)が多いほど角層細胞が剥離している状態を示します。

プライムバリアローション使用群では角層細胞の剥離状態が改善されていることが分かりました。

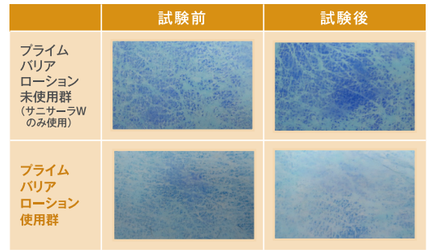


図5 試験前後の角層細胞変化(被験者Aの皮膚)